

発刊にあたって

昭和 23 年 (1948) に創立されました日本胸部外科学会 The Japanese Association for Thoracic Surgery が、本年 (1997) で golden jubilee いわゆる五十周年記念日を迎えることとなります。この大きな節目の記念に『日本胸部外科学会 50 年の歩み』を発刊することになり、2 年前に記念誌編纂委員会が組織されました。

『50 年の歩み』誌編纂委員会では 20 年前に東京医科大学早田教授を中心に発刊されました『30 年の歩み』誌を礎に、それ以降の本邦における胸部外科学の足跡を辿り、関連医学会や社会情勢の変遷を組み込み、疾患別動向を「その後の 20 年」として編集することを主眼としました。

中でも心臓血管外科、呼吸器外科、食道外科の各領域に亘る疾患別動向は会員に関心の深い項目と考え、先ず編纂委員会において年度別領域別演題数などの基礎資料を作成し、これを元に主に理事の先生方に「その後の 20 年」として執筆をお願いしました。また、歴代会長に総会運営方針や思い出を聞く「会長のことば」欄では、総会でのパネル展示の都合から各一枚という制約があり、意を尽くせなかった部分のありましたことをご了承下さい。

一方、胸部外科の学術総会という狭い枠にとどまらず、世界の動き社会の情勢も平行して記録してみました。しばし、『50 年の歩み』誌の頁をくっていただければ、手術成功の第 1 例など思いがけない記録や事実遭遇されることと思います。

発足以来半世紀を経た学会の足跡を探訪して、次の半世紀への糧としていただければ幸いです。

第 50 回日本胸部外科学会会長 川 田 志 明